



おくりもの

富福まきこ

春の森で、動物たちがお互いをぎゅとしながらあいさつをしています。でも、ハリネズミくんはそれができません。自分のハリが嫌いなハリネズミくんいつもはハリのせいで近づけない森の仲間たちに、なんとかしたいと、ハリを使っておくりものをします。(あぶた読書の家所蔵)

読書の家から

あぶた読書の家 (☎ 76-2100)
[時間] 10時～16時20分 [休館日] 木曜日、祝日
みずうみ読書の家 (☎ 75-4702)
[時間] 10時～15時 [休館日] 木曜日、祝日
洞爺総合センター図書室 (☎ 82-5111)
[時間] 9時～16時30分 [休館日] なし

新刊案内

■あぶた読書の家

△一般▽伝記小説 沢沢栄一 財界のフロンティア (山田克彦) △地球に住めなくなる日「気候崩壊」の避けられない真実 (ディビッド・ウォレス・ウェルズ著／藤井留美訳) △女たちのシベリア抑留 (小柳ちひろ) △空と湖水天折の画家三橋節子 (植松三十里) △楡の墓 (浮穴みみ)

△児童書▽▽君に応援歌を

古関祐而物語 (大野益弘) △いっぽんのきのえだ (コンスタイス・アンダーソン著／千葉茂樹訳) △ほら、ここにいるよ (オリバー・ジューファイズ著／tupera tupera 訳)

■みずうみ読書の家

△一般▽▽きたきた捕物帖 (宮部みゆき) △カケラ (湊かなえ) △あしたの華姫 (畠中恵) △黙示 (今野敏) △焦眉 (今野敏)

△児童書▽▽深海生物のクイズ図鑑新装版 (土田真二) △天気クイズ図鑑新装版 (佐

絵本の玉手箱 9月のおはなし会

■日時 ①10月9日(金) 14時～15時②9月14日(月)、28日(月) 10時～11時30分、9月17日(木) 14時～15時30分

■場所 ①あぶた読書の家②あぶた母と子の館

■問合せ 佐藤 (☎ 76-2487)

※マスク着用の参加をお願いします。人数制限を行うこともありますのでご了承ください。

藤公俊) △鉄道のクイズ図鑑新装版 (池口英司)

■洞爺総合センター図書室

△一般▽▽夏の陰 (岩井圭也) △世界はうつくしいと (長田弘) △ラッコの家 (古川真人) △本屋さんのダイアナ (柚木麻子) △世界でいちばん素敵な海の教室 (藤岡換太郎)

△児童書▽▽クッキーカーウント (ロバート・サブダ著／わくはじめ絵) △ゴロゴロゴロゴロ (あきびんご) △しゅつどう! しょうぼうたい (鎌田歩)

地域おこし協力隊



通信

vol.30

今月の
リポーター
西山雄治さん



先日、洞爺湖クライミングクラブ(TCC)の

メンバーと、外岩を登りにいきました。

帯同したメンバーは何度も登っているベテラン経験者ですが、私にとっては初めての経験となります。場所は、洞爺湖畔沿いの道道132号線から曲がって山に向かう道路に入っていくと見えてくる「義経岩」。とても存在感のある大きな一枚岩です。木々の隙間からは洞爺湖が覗けます。

登る前の安全確認をし、いざクライム。率直な感想は、普段室内で行っているボルダリングの感覚とは似て非なるものでした。外岩には室内のようにホールドがないため、手で掴める箇所、足を掛ける箇所を探して登っていくので、当然

ルートも自分で決めて登っていくこととなります。ここが難しい所でもあり楽しい所でもあります。無骨な岩肌是指を掛けづらい箇所が多く、集中力が非常に必要になります。まさに手探り状態。指先、足のつま先しか掛けられないような箇所が沢山あり恐怖心からか、岩に張り付くといったような感覚で登り進めましたが、ロープ一本に命を預けることに恐怖を感じました。

よほどのことがない限り落下することはないと思いますが、感じる高さは、室内のそれとは全く違うのでやはり恐怖です。しかし、登頂した自分を想像すると心がワクワクします。これからも登り続けていきたいと思っています。